

平成27年度
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

平成 27 年度 新潟市南区社会福祉協議会事業報告書

【概 要】

急速に進展する少子高齢化、単身世帯の増加、人間関係の希薄化、家族機能の低下など、急速な地域社会の変容により、社会的に孤立した世帯が急増しています。その状況は、稼働世代や子育て世代などにも広がっており、新たな福祉課題・生活課題が顕在化し、社会問題となっています。新潟市社会福祉協議会は、そのような課題と向き合い、地域住民をはじめとしたあらゆる関係機関・団体と連携協働し、誰もが安心して暮らすことのできる地域に根差した福祉のまちづくりに取り組んでいます。

平成 27 年度、第 1 次「地域福祉計画・地域福祉活動計画」（南区アクションプラン）の評価・検証するため各分野別「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉、介護者支援」及び「地域づくり」に評価分科会を 2 回ずつ実施し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討してきました。

これを基に、第 2 次「南区地域福祉計画・地域福祉活動計画」基本目標を「人と人とがふれあい、安心していつまでも暮らせるよう、支えあいのまちづくり」を目指し住民や関係団体と連携しながら進めてきました。

南区社会福祉協議会（以下、「本会」とする）では、区の社会的課題となっている交通弱者や、複合的な課題を掲げる世帯へのアプローチを円滑にするため、福祉専門職とのネットワークを構築し、地域包括ケアシステムの生活支援や介護予防の観点から事業展開を推進してきました。

その他、買い物弱者支援については、平成 25 年 11 月より月潟地区・味方地区及び茨曽根地区で移動販売を実施しました。残念ながら利用される住民の方が少なく平成 28 年 2 月末日をもって終了しました。しかしながら月潟地区・味方地区では、代替事業の検討を進め、買い物弱者に対する支援の仕組みづくりに取り組み始めました。

以下、平成 27 年度事業の実施状況について次のとおり報告します。

【事業実施状況】

1. 区社協の組織、基盤の強化

(1) 理事会の開催状況

区 分	開催日・場所	協 議 題
第1回理事会	平成27年4月8日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区社会福祉協議会会長の選出について ・南区社会福祉協議会副会長の選出について ・新潟市社会福祉協議会理事及び評議員候補者の推薦について
第2回理事会	平成27年5月25日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区社会福祉協議会理事の一部選任について ・平成26年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・平成26年度南区社会福祉協議会収支決算について
第3回理事会	平成27年9月1日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区社会福祉協議会理事の一部選任について ・南区健康福祉フェア2015並びに第9回南区社会福祉大会についてについて ・第9回南区福祉大会被表彰者等の選考について ・規約の一部改正について ・新潟県民福祉大会の参加について
第4回理事会	平成27年12月21日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の一部選任について ・平成28年度南区社会福祉協議会重点事業について ・大雪対応ボランティアセンターについて
第5回理事会	平成28年3月25日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・南区社会福祉協議会理事の一部選任について ・南区社会福祉協議会副会長の一部選任について ・平成28年度南区社会福祉協議会事業計画（案）について ・平成28年度南区社会福祉協議会収支予算（案）について ・南区自治協議会委員の推薦について ・新潟市社協評議員の推薦について

(2) 監事会の開催

区 分	開催日・場所	監 査 事 項
監 事 会	平成 27 年 5 月 20 日 南区社会福祉協議会 大会議室	・平成 26 年度南区社会福祉協議会事業実施報告 について ・平成 26 年度南区社会福祉協議会収支決算につ いて

(3) 会員会費の納入状況(目標額：1 世帯 500 円)

地区	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)	地区	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額(円)
新飯 田	478	476	99.6	238,000	鷺 巻	522	497	95.2	248,500
茨曾 根	417	411	98.6	205,500	根 岸	1,132	1,020	90.1	510,000
庄 瀬	653	647	99.1	323,500	大 通	2,089	1,932	92.5	966,000
小 林	1,200	1,000	83.3	500,000	白 根	3,668	3,103	84.6	1,551,410
臼 井	955	817	85.5	408,500	味 方	1,256	934	74.4	466,800
大 郷	467	424	90.8	212,000	月 潟	1,127	945	83.9	472,400
					合 計	13,964 (13,964)	12,206 (12,117)	87.4 (86.8)	6,102,610 (6,057,690)

※ () 内は前年度数値

(4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個 人 1 2 8 人 88,500 円
法 人 2 1 社 125,000 円

2. 住民参加・協働による地域福祉の推進

(1) 南区地域福祉活動計画の推進

○新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会

平成 27 年度南区アクションプラン第 2 期目の計画を踏まえ、「児童、子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉、介護者支援」及び「地域づくり」の 4 分野別の評価分科会を 2 回ずつ開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討した。

回	期日・会場	主 な 内 容
1	7 月 9 日 白根健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none">・委員長・副委員長の選任・南区地域福祉アクションプランの概要・前地域福祉計画最終評価報告・前地域福祉活動計画最終報告・南区地域福祉アクションプラン進行管理・評価体制
2	2 月 26 日 白根健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none">・南区地域福祉アクションプラン 2015～2020 進行管理について分科会報告<ul style="list-style-type: none">・「児童・子育て支援」・「障がい福祉分科会」・「高齢者福祉・介護者支援」・「地域づくり」

(2) 地区社会福祉協議会の育成と活動支援

○地区社会福祉協議会長・地域生活センター職員合同会議

期 日	場所・参加者	協議内容
平成 27 年 7 月 28 日	南区社会福祉協議会 32 名	<ul style="list-style-type: none">・平成 27 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について・平成 27 年度地区社会福祉協議会交付金について・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について・第 2 期南区地域福祉アクションプランの推進について・新潟市社会福祉協議会総合計画について・第 9 回南区社会福祉協議会被表彰者等の推薦について・南区社会福祉協議会業務依頼について

○地区社協活動支援

各地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。

（３）ふれあい・いきいきサロン（地域のお茶の間活動）、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会などの小地域が主体で仲間づくりや多世代交流事業を実施する「いきいきサロン」「地域の茶の間」活動に助成しました。また、地域住民が自発的に参画し、より創意工夫に富んだ活動が展開できるよう、サロン等の立上げ支援を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数					
	高齢者				子育て			高齢者				子育て	
	区社 助成	市助成		その 他	区社 助成	その 他		区社 助成	市助成		その 他	区社 助成	その 他
		A	B						A	B			
新飯田地区	1			1	1		鷲巻地区	2			1		
茨曾根地区	2	1		2			根岸地区				2		
庄瀬地区				1			大通地区	4				2	
小林地区	4			2			白根地区	8		2		1	1
臼井地区	3			1	1		味方地区	8		1	1	1	
大郷地区	1				1		月潟地区	4		1			1
市の助成数　：Aタイプ° 1ヶ所　Bタイプ° 4ヶ所 区社協助成数：4 4ヶ所							合計	53 (54)				9 (8)	

※高齢者その他には JA まごころ 4 件含む（ ）内は前年度数値

※平成 27 年度に休止のお茶の間の間が 1 ヲ所ありました。

※平成 27 年度に新規の子育てサロンが 1 ヲ所ありました。

○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・場所	内容・参加者
ふれあい親子まつり	11 月 14 日（土） 白根カルチャーセンター	アトラクション・親子遊び・ゲームラ リー・関係機関の活動紹介 参加者：親子 45 組（子ども／79 人・ 大人／52 人・スタッフ 16 人）

子育てサロン交流会	2月17日（水） サルナート吉運堂	・助成金・ボランティア保険について説明 ・演奏会（バイオリンとピアノ） ・意見交換・情報交換 ・子育てサロン・関係機関からのお知らせ 参加者：親子13組（子ども／15人・大人17人・関係者10人）
-----------	----------------------	--

（４）コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

3. 地域に根ざした在宅福祉サービスの推進

（１）昼食・配食サービス事業、友愛訪問事業及びおせち宅配事業の実施

12地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への昼食会、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱配付事業	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	20（フォローアップ訪問含む）	13
茨曽根地区社協	地区社協、民生委員	110 3回配食	39（フォローアップ訪問含む）	9
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	32 （配食）	50（フォローアップ訪問含む） 100（友愛訪問）	28
小林地区社協	民生委員	45 （昼食会）	111（フォローアップ訪問含む） 64（歳末慰問）	28

臼井地区社協	地区社協、民生委員	38 (配食)	115(新規 17、フォローアップ 訪問を含む)	25
大郷地区社協	地区社協、民生委員	85 (配食) 2 回配食	229 (フォローアップ 訪問含む)	17
鷺巻地区社協	地区社協、民生委員	117 (配食)	25 (フォローアップ 訪問含む)	16
根岸地区社協	地区社協、民生委員	153 (昼食会・茶の間の交流含む)	34(見守り・フォローアップ 訪問含む)	22
大通地区社協	地区社協、民生委員	36 (昼食会)	113 (新規 4 名、フォローアップ 109 名)	29
白根地区社協	地区社協、民生委員	361 (昼食会・配食)	—	180
味方地区社協	民生委員	60 (配食・委託)	—	42
月潟地区社協	民生委員	260 (配食・委託)	120 (新規 17、フォローアップ 訪問含む)	44
合 計		1,297 人 (1,952 人)	- 個 (- 個)	453 食 (431 食)

※ () 内は前年度数

(2) 緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治・町内会長様の協力のもと配布しました。

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	合 計	うち有償
新飯田	4	0	1	0	0	5	0
茨曾根	0	0	0	0	0	0	0
庄瀬	0	0	0	0	0	0	0
小林	0	0	1	0	0	1	0
臼井	0	0	0	0	0	0	0
大郷	0	0	0	0	0	0	0
鷺巻	0	0	0	0	0	0	0
根岸	1	0	0	0	0	1	0

大通	9	4	4	0	4	21	7
白根	1	0	1	0	0	2	0
味方	2	1	0	0	0	3	0
月湯	0	0	0	0	0	0	0
施設	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	5	7	0	4	33	7

* 26 年度末までの合計配布数 124 本（うち 61 有償）

4. 広報・啓発活動の実施

（１）広報「区社協だより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 29 号	平成 27 年 7 月 12 日	平成 27 年度事業計画・予算、平成 26 年度年度決算報告、社協会費納入のお願い、南区社協各事業所紹介、地域の茶の間・子育てサロンマップ、地域福祉アクションプラン座談会の開催、ボランティア伝言板ほか
区社協だよりみなみ 第 30 号	平成 27 年 9 月 20 日	南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会のお知らせ、赤い羽根共同募金運動について、地域福祉活動拠点整備支援事業助成申請、賛助会員企業、男性のための料理教室、災害相互支援協定の締結、そのお知らせ、ボランティア伝言板ほか
区社協だよりみなみ 第 31 号	平成 28 年 2 月 21 日	平成 27 年度共同募金法人募金実績報告、南区地域福祉ネットワーク会議、地域交流活動助成事業のお知らせ、男性介護者のつどい募集、各表彰、寄付御礼ほか
区ボランティア・市民 活動センターだより 第 1 号	平成 28 年 3 月 2 日	ボランティアきっかけ作り講座、おもちゃドクター講座の募集、ボランティア団体の活動紹介、平成 28 年度各講座予定

（２）南区社会福祉大会並びに健康福祉フェアの開催

南区社会福祉大会並びに南区健康福祉フェアを開催し、福祉と保健が一同に会し、相互に連携を深め、民間福祉事業、ボランティア活動並びに健康づくり活動が向上、

普及するために、地域の活動団体と区民の交流、社会参加の実現が図られました。

平成27年度は施設授産品の販売のコーナーの配置変え休憩スペースを充実しました。また、ボランティア団体の出展として27年度立ち上がったおもちゃ病院南のブースを設けました。

期 日	場所・来場者	開 催 内 容
平成27年10月3日 (土)	白根学習館 約850名(約1,100名)	○式典(表彰式、中学生ボランティア体験 発表 白南中、講演会) フリーマーケット、イベントアトラク ション等

※()内は前年度数値

5. 高齢者生きがい支援事業の実施

(1) カラオケ大会、輪投げ大会の開催

高齢者の健康増進、生きがいづくりを支援し、高齢者同士の交流を図るため、老人福祉センター白寿荘を会場に、カラオケ大会、及び輪投げ大会を開催しました。

イベント名	期 日	参加者	概要
輪投げ大会	平成27年 9月10日	約86名	60歳以上で新潟市南区在住の方を対象として実施
カラオケ大会	平成27年 11月2日	約93名	60歳以上で新潟市南区在住の方を対象として実施

6. ボランティアの育成と活動支援

ボランティア活動に参加したい方、ボランティアを必要とする個人・団体・福祉施設等からのボランティアに関する多様な相談に応じ、必要な情報提供や調整、ボランティア登録、ボランティア保険の加入手続き等ボランティア・市民活動に関する支援を行いました。

また、地域のニーズに合ったボランティアの育成を行うためきっかけ作り講座を開催し、新しい団体の立ち上げ支援を行いました。

子どもだけでなく大人を対象に福祉体験を行うことで、福祉教育の在り方を考えるきっかけを作りました。

(1) ボランティアセンター事業の推進

○ボランティアグループ数、人数 ※ボランティア登録及びボランティア保険加入よりカウント

区分	高齢者 福祉関 係	障がい 者福祉 関係	児童福 祉関係	病院・ 施設関 係	視覚障 がい者 支援	聴覚障 がい者 支援	地域活 動その 他	災害関 係	計
グループ	11	1	5	11	1	1	18		48G
人数	161	30	50	150	15	14	318		738
個人人数				5			11	5	21
人数合計	161	30	50	155	15	14	329	5	759

○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事保険（件）
488	92

○ボランティア相談・ニーズ

相談件数

ボランティア したい(a)	ボランティア 欲しい(b)	情報提供 したい	情報 欲しい	計
23	33	53	5	114

(a) ボランティアしたい

高齢・障がい	児童	災害	病院	地域活動 その他	計
5	2	1		15	23

(b) ボランティア欲しい

<相談内容について>

高齢・障がい	児童	災害	病院	地域活動 その他	計
27	1	5			33

○災害関係

南区に合ったマニュアルを作ること为目标に地元の白根 J C と協力をしてマニュアル検討委員会を開催しました。それにもとづき、災害ボランティアセンター設置訓練を開催しました。

講座名	参加者数
6 月 5 日 災害ボランティアセンター設置職員事前説明会	10 人
7 月 11 日 災害ボランティアセンター設置訓練	49 人
毎月 1 回 災害マニュアル検討会 (9 回)	82 人
合計	141 人

(2) ボランティア講座

きっかけ作り講座から「おもちゃドクター南」が立ち上がりました。

28 年度からは第 5 日曜日に学習館を会場におもちゃ病院を開院します。

27 年度好評だった南区のボランティアとサロン関係者の情報交換会として交流会を開催しました。

南区福祉施設のボランティア受け入れ担当者の情報交換会を開催しました。

期日	講座名	参加者数
7 月 16 日 (木)	ボランティアきっかけ作り講座・傾聴 (公民館共催)	17 名
7 月 30 日 (木)	ボランティアきっかけ作り講座・音楽 (公民館共催)	9 名
8 月 9 日 (日)	ボランティアきっかけ作り講座・おもちゃ Dr 初級 (公民館共催)	6 名
9 月 6 日 (日)	ボランティアきっかけ作り講座・おもちゃ Dr ステップアップ (公民館共催)	6 名
10 月 1 日 (木)	ボランティア研修会 家族のあり方 (あやめの会共催)	20 名
12 月 4 日 (金)	南区ボランティア・サロン交流会	98 名
12 月 25 日 (金)	南区中学生ボランティア交流会 (公民館共催)	41 名
11 月 7 日	こころの健康づくり講座 (健康福祉課共催) 公開講座	29 名
6 月 17・20 日	こころの健康づくり講座 (健康福祉課共催) 施設見学	3 名
12 月 11 日 (金)	こころの健康づくり講座 (健康福祉課共催)	12 名

	レストランばる交流会	
2月26日（金）	施設ボランティア受け入れ担当者 情報交換会	13名
		254名

（３）福祉教育

体験学習の他に視覚障がい者の講話を行い普段の生活を理解してもらう機会を作りました。また、学生だけでなく大人の福祉教育として、地域と学校をつなぐ地域教育コーディネーターを対象に福祉体験を行いました。

期日	学校・団体名	参加学年・人数 参加者	内容
8月3日	白根北中学校	1年生 240名	車椅子体験 120名、(30名×4クラス) アイマスク体験 120名(30名×4クラス)
11月13日	白根北中学校	1年生 120名	視覚障がい者の講話
6月2日	茨曾根小学校	5年生 16名	車椅子体験 16名 1クラス
6月9日	茨曾根小学校	5年生 16名	高齢者疑似体験 16名 1クラス
6月18日	茨曾根小学校	5年生 16名	認知症サポーター養成講座 16名 1クラス（包括しろね南）
6月11日	新飯田小学校	4年生 26名	車椅子体験 13名 1クラス 高齢者疑似体験 13名 1クラス
11月6日	根岸小学校	6年生 26名	アイマスク体験 26名 1クラス
11月20日	根岸小学校	6年生 52名	車椅子体験 26名 1クラス 高齢者疑似体験 26名 1クラス
1月14日	根岸小学校	6年生 26名	ブラインドサッカー
11月18日	大通小学校	3年生 33名	アイマスク体験 33名 1クラス
11月19日	大通小学校	3年生 33名	高齢者疑似体験 33名 1クラス

12月3日	小林小学校	4年生 68名	車椅子体験 34名 1クラス アイマスク体験 34名 1クラス
12月17日	月潟小学校	4年生 54名	車椅子体験 27名 1クラス 高齢者疑似体験 27名 1クラス
1月19日	味方小学校	4年生 30名	車椅子体験 30名 1クラス
2月2日	味方小学校	4年生 30名	アイマスク体験 30名 1クラス
2月9日	味方小学校	4年生 30名	高齢者疑似体験 30名 1クラス
2月23日	味方小学校	4年生 30名	盲導犬ユーザー講話
6月19日	南区地域教育コーディネーター	66名	高齢者疑似体験 33名 車いす体験 33名
3月15日・16日	白根高校	1・2年生 252名	避難所運営ゲームHUG

(4) 南区ボランティア・市民活動センターだよりの発行

平成 28 年 3 月発行 400 部作成

ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先に配布

7. 区役所・福祉関係団体等との連携、協働

(1) 南区地域福祉ネットワーク事業

多様化している福祉課題の解決に向けて対処できるよう、地域福祉コーディネーターを含めた高齢・障がい・児童の専門職連携を図るために、地域福祉ネットワーク会議を2回開催しました。その他、互いの役割を理解し、顔の見える関係が構築できるよう、南区内の事業所ファイルの追加及び加除・訂正をしました。

●地域福祉ネットワーク会議

	日 時	参加者	内 容
1 回目	9 月 19 日	43 事業所／108 名	○新潟市が推進する「地域包括ケアシステムの方向性」講演 ○「南区地域包括ケアシステム構築に向けて」シンポジウム

2 回目	2 月 20 日	42 事業所／108 名	○南区支えあいの仕組みづくり会議と地域ケア会議 ○南区在宅医療安心ガイドブック ○事例を踏まえたグループワーク
------	----------	--------------	---

●C S W（コミュニティソーシャルワーカー）定例会

南区社協内のC S Wだけでなく地域包括支援センター職員も参加いただき、月 1 回定例会を開催しました。C S W活動計画の進捗状況や高齢者を地域で支えるモデル事業の報告、その他、個別のケース検討などを重ねました。

8. 総合的な相談事業、援助活動の実施

（１）ふれあい相談センターの機能強化

毎月第 2・第 4 水曜日に心配ごと相談所を開設。心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い、相談者の心配ごとを解消して相談の問題解決に努めた。法律の専門相談は実績なし。相談員は、本部並びに南区社協主催の相談員研修会に参加し、研鑽された。

[心配ごと相談所相談件数]

区 分	来 所	司法書士等	区 分	来 所	司法書士等
生 計	1 件	件	住 宅	件	件
職業・生業	件	件	事 故	件	件
家 族	1 件	件	財 産	1 件	件
離 婚	1 件	件	教育・青少年	件	件
医 療	件	件	老人福祉	件	件
精神衛生	件	件	母子父子福祉	件	件
人権・法律	件	件	苦 情	1 件	件
年 金	件	件	その他	件	件
心身障がい者福祉	1 件	件	小 計	6 件	件
			合 計	6 件 (9 件)	

※（ ）内は前年度数値

（２）社会福祉資金貸付制度の推進

低所得者、高齢者、障がい者等の世帯に対してその自立と生活の安定のため、目的に応じた生活福祉資金を貸し付けました。また低迷する経済情勢を背景に収入の減少や失業等によって生活に困窮した世帯には総合支援資金を貸付け生活の立て直しを支援しました。

資金名		平成 27 年度 新規貸付件数	平成 26 年度末 件 数	平成 26 年度末 件 数
生活福祉資金	福祉資金	0 件	0 件	0 件
	教育支援資金	0 件	0 件	0 件
	災害援護資金	0 件	0 件	0 件
	総合支援資金	0 件	0 件	0 件
	緊急小口資金	0 件	0 件	0 件
	不動産担保型生活資金	0 件	1 件	1 件
離職者支援資金		0 件	0 件	0 件
合 計		0 件	1 件	1 件

（３）日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し権利擁護のサービスの提供に努めました。

契約件数	サービス利用者数	契約終了件数
12 件（1 件）	12 件	1 件

※ 契約件数（ ）内は平成 27 年度新規契約件数

9. 共同募金事業の推進

〔平成 27 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額〕

区 分	平成 27 年度 目標額	平成 27 年度 実績額	達成率	平成 26 年度 実績額	対前年比較
共同募金	7,139,000 円	7,247,167 円	101.5%	7,125,773 円	121,394 円
歳末募金	2,650,000 円	2,834,814 円	106.9%	2,739,504 円	95,310 円
合 計	9,789,000 円	10,081,981 円	102.9%	9,865,277 円	216,704 円

【赤い羽根共同募金の募金別内訳】

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,900,692 円	81.4%
法人募金	864,176 円	11.9%
学校募金	271,786 円	3.8%
街頭募金	3,215 円	0.04%
職域募金	128,636 円	1.8%
イベント募金	8,646 円	0.1%
その他募金	70,016 円	1.0%
合 計	7,247,167 円	100.0%

【歳末たすけあい募金の募金別内訳】

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,734,151 円	96.4%
職域募金	100,623 円	3.6%
その他募金	40 円	0.0%
合 計	2,834,814 円	100.0%

10. 市受託事業の推進

（１）福祉バス運行事業の推進

南区の福祉団体や、老人福祉センター白寿荘・憩いの家楽友荘・憩いの家月寿荘を利用する高齢者、及び障がい者に対し、交通の利便性を図るため福祉バスを運行しました。

利用状況	年間運行回数・年間延べ利用者数
・月曜日を除きほぼ毎日運行	210 回・2,739 人
・水曜、木曜は味方・月潟地区を巡回	(217 回・3,236 人)

※（ ）内は前年度数値

（２）老人福祉センター（白寿荘）の管理・運営

高齢者に対してさまざまな相談に応じながら、高齢者の健康増進、教養の向上およびレクリエーションのための便宜を供与するため、「老人福祉センター白寿荘」の管理運営を実施しました。

延べ利用者数	うち 60 歳以上の利用者数
31,483 人 (31,556 人)	30,146 人 (30,307 人)

※（ ）内は前年度数値

（３）生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数	内 容
白根健康福祉センター 2階	火～土曜日	244 日	1,800 人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

（４）給食サービス事業（再掲）

一人暮らし高齢者の食の確保と声掛け、見守りを目的に、毎週火・金曜日のお昼に、月潟南天の会の給食ボランティアによる手作り弁当をお届けしました。（平成 27 年 7 月末日受託終了）

地 区	利用者数	延べ実施回数	延べ配食数	ボランティア数
味 方	17 人	5 回	60 食	3 人
月 潟	35 人	13 回	260 食	38 人

（５）元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により、交付金として還元するものです。当該制度が円滑に運営できるように、研修会の開催、受入施設へのコーディネートのほか、サポーター交流会を開催し、研修・交流を行ないました。

区 分	説明会		サポーター登録者数	登録施設数
	開催数	参加者数		
H25 年度	8 回	15 人	12 人	6
H26 年度	11 回	25 人	25 人	1
H27 年度	3 回	10 人	10 人	1
合 計	31 回	136 人	124 人	34

1 1. 地域貢献事業

区社協と介護サービス事業所との共同事業。

事業名	実施期日	事業内容	延べ参加人数
男性のための料理教室	7月29日（水）	調理実習を通して仲間づくり・情報交換等 協力：南区食生活改善推進委員	8名
男性介護者のつどい事業	11月18日（水）	調理実習を通して仲間づくり・情報交換等 協力：南区食生活改善推進委員	8名
	3月11日（金）	家族を介護している方や福祉や介護に関心のある男性を対象に つどいを開催。家族介護をテーマにした映像を鑑賞し、意見交換等を行い、昼食・入浴にて日頃の介護疲れを癒していただきました。	11名

1 2. 移動支援事業

（1）透析患者通院支援について

平成25年度に事業化したものの、患者同士のマッチングができず、利用実績がありませんでした。そこで、26年度は公共交通担当の行政職員、病院職員、区内の地域包括支援センター、患者会、社会福祉協議会とで、現状の把握と共有を目的に透析患者の通院支援検討会を開催しました。そこでは、透析患者の通院現状や病院バス、デマンドタクシー等の運行状況と課題を共有することができました。

今後は白根健生病院の組合員を対象にした送迎サービスとして、検討会立ち上げを病院に働きかけていきたい。

平成27年度、白根生活協同組合と意見交換を実施し、現状と課題について協議した。

日程	内容	参集メンバー
H27. 6. 17	送迎サービスについては、病院の組合でも検討した	白根生活協同組合

	<p>が、なかなか周囲の理解を得られない状況。</p> <p>ニーズ調査を実施し、試験的に地域を特定して運行するなど考えて行きたいが、乗車できる要件を決め、申込者に対し面接もする必要がある。</p> <p>病院も選ばれる時代、送迎があるから通院できる環境を作らなければならない。</p>	
--	---	--

（２）買い物支援について

平成 25 年 11 月から月潟地区の一部でスタートし、平成 26 年度は実施地区を味方地区・茨曽根地区に拡大してきました。平成 26 年 6 月から試験販売を実施し、月潟・味方地区は定着化が図れたものの、茨曽根地区は 5 か月継続しましたが客数は減少し、電話や FAX 注文等による戸別宅配に切替させていただきました。

各々の地区で自治会長をはじめとした買い物支援検討会を開催し、より良い事業実施にご意見をいただきましたが、販売実績の低迷により平成 28 年 2 月末をもって移動販売の事業が終了することとなりました。

日程	内容	参集メンバー
H27. 12. 21	味方・月潟地区買物支援合同検討会 ・移動販売中止の経緯について ・今後の買物弱者支援について	地区社協役員、包括支援センターほか
H28. 2. 1	月潟地区買物支援検討会 ・移動販売の方向性について	月潟地区社協会長、相談役 コミ協会長ほか

1 3. 高齢者等あんしん見守り活動事業

（１）モデル地区選定

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくために、地域住民の助け合い・支え合いの意識醸成を図り、更にモデル地区を選定し事業の構築を図りました。

モデル地区	内容
味方 千日地区	・40 年前に造成された地域で高齢化し、一人暮らし世帯が急増している所と、新たに住宅地が造成されアパートや子どもの多い所が混在する地域となっている。

	<p>事業概要説明</p> <p>自治会への事業説明→座談会（3回実施）</p> <p>① 「地域を知る」→福祉マップ作り（10月に作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年後、10年後を見据えた見守り体制の仕組みを検討構築した。 <p>② 「千日気かけ隊」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たとえ孤独死しても7日以内に発見される千日自治会を目標に結成
--	---

14. 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステム構築に向けた支え合いのしくみづくり会議（協議体）の設置について、南区の1層及び2層準備会に参画し、第1層支え合いのしくみづくり会議の構成員となりました。

2回の会議で協議・検討を重ねた結果、支え合いのしくみづくり会議（協議体）の事務局と生活支援コーディネーターについて全会一致で社協受託を了承されました。

また、区で開催された研修会に参加し、地域づくりにおける協議体と生活支援コーディネーターの役割について、理解を深め、ワークショップで構成員との意見交換を行いました。

準備会・協議体	開催月	主な内容
南区「支えあいのしくみづくり会議（協議体）」準備会	11月17日 南区役所	行政説明（〈1〉高齢者・介護を取り巻く状況と介護保険制度の改正概要、〈2〉新潟市の取り組み、〈3〉区の概要・協議体構築スケジュール、支え合いしくみづくりアドバイザーによる講話、1層及び2層協議体の構成員の選出）
平成27年度第1回南区第1層「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」	12月28日 南区役所	支え合いのしくみづくり会議（協議体）及び生活支援コーディネーターの役割について、生活支援コーディネーターの選出
平成27年度第2回南区第1層「支え合いのしくみづくり会議（協議体）」	3月8日 南区役所	生活支援コーディネーターと事務局について

みづくり会議(協議体)」		
「地域づくりにおける協議体・生活支援コーディネーターの役割」研修会	3月24日 白根学習館	<p>第1部【基調講演】「地域づくりにおける協議体・生活支援コーディネーターの役割」</p> <p>参加者：南区協議体構成員・南区保健医療福祉のつながりを深める会関係者・みなふくねっと構成員・南区居宅支援連絡会構成員・南区社協職員・地域包括支援センター職員・南区役所職員</p> <p>第2部【ワークショップ】</p> <p>参加者：南区協議体構成員</p>